第一講・文学的文章①

物語文などの文章を読むときには、場面の様子をつかむことが大切です。

①登場人物　②場所
③時　　　④できごと

右の①〜④をしっかりおさえ、場面の様子を思いえがきましょう。そして、①〜④に注目しながら、場面のうつり変わりを見分けましょう。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

一題目　**次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。**

十一月のすえ、ぼくは花崎(はなさき)神社のお祭りに出かけた。

このお祭りは、熊手市(くまでいち)ともよばれている。おかめや、えびす、大黒(だいこく)、大判(おおばん)や小判を熊手にとりつけて売っているのだ。

熊手なんていう道具は、今のぼくたちの家では使っていない。むかしは、落葉(おちば)をかきよせたりするのに、なくてはならない道具だったのだそうだ。

その熊手に、おかめや、えびすや、小判がついているのは、幸せやお金を、かき集められますようにという、おまじないなのだそうだ。

でも、ぼくは、熊手なんかには興味(きょうみ)がない。それより、熊手といっしょにならんでいるおもちゃ屋や、ゲーム屋、それから、サーカスや、見世物(みせもの)を見たいと思って、出かけたのだ。

ぼくが出かけたのは三時ごろだったけれど、神社のまわりは、もう、人でいっぱいだった。

おとなもおおぜいいたけれど、子どももそれに負けないぐらいおおぜいいた。

こんなにおおぜい子どもがいるなら、ぼくの知っている子どもがひとりぐらいいたっていいと思うのに、ひとりも見つからない。

ぼくは、あたりをきょろきょろ見回しながら、人波の中を歩いていった。

（大石真(おおいしまこと)『くいしんぼ行進曲』）

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　この文章の「時」はいつごろですか。それがわかることばを、文中から二つ書きぬきなさい。

問二　「ぼく」はどこに出かけたのですか。

問三　――線部「熊手」について、次の問いに答えなさい。

(1)　むかしは、何のために使われていたのですか。

(2)　このお祭りでは何のために売られているのですか。次の□にあてはまることばを文中からそれぞれ書きぬきなさい。

□□□□□をかき集められますようにという、□□□□□のため。

問四　お祭りの様子としてもっともよいものを次のうちから選（えら）び、記号で答えなさい。

ア　「ぼく」の知っている子どもがおおぜいいた。

イ　おとなも子どももおおぜいいた。

ウ　子どもばかりでおとなは少なかった。

エ　おとなばかりで子どもは少なかった。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

〈少年は生まれて初めて一人でバスに乗り、入院中の母親のお見舞いに病院に行った。毎日バスに乗って病院に行ったが、二冊目の回数券を使い切っても、母親は退院できそうになかった。〉

「定期券にしなくていい？」

「なんだ、おまえ、そんなのも知ってるのか」

「そっちのほうが回数券より安いんでしょ？」

定期券は一カ月、三カ月、六カ月の三種類ある。父がどれを選ぶのか、知りたくて、知りたくなくて、

「定期って長いほうが得なんだよね」と言った。

「ほんと、よく知ってるんだなあ」父はまたおどけて笑い、「まあ、五年生なんだもんな」とうなずいた。

「……何カ月のにする？」

「お金のことはアレだけど……回数券、買っとけ」

父はそう答えたあと、「①<u>やっぱり三冊ぐらい買っとくか</u>」と付け加えた。

次の日、バスに乗り込んだ少年は前のほうの席を選び、運転席をそっと覗き込んだ。あのひとだ、とわかると、胸が＊1すぼまった。

初めてバスに一人で乗った日に叱られた運転手だった。その後も何度か、同じ運転手のバスに乗った。まだ二冊目の回数券を使いはじめたばかりの頃、整理券を指に巻きつけて丸めたまま運賃箱に入れたら、「数字が見えないとだめだよ」と言われた。叱る口調ではなかったが、それ以来、あのひとのバスに乗るのが怖くなった。たとえなにも言われなくても、運賃箱に回数券と整理券を入れてバスを降りるとき、いつもムスッとしているように見える。

嫌だなあ、運が悪いなあ、と思ったが、回数券を買わないわけにはいかない。『大学病院前』でバスを降りるとき、「回数券、ください」と声をかけた。

運転手は「早めに言ってくれないと」と顔をしかめ、足元に置いたカバンから回数券を出した。制服の胸の名札が見えた。「河野」と書いてあった。

「子ども用のでいいの？」

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

「……はい」

「いくらのやつ？」

「……百二十円の」

河野さんは「だから、そういうのも先に言わないと、後ろつっかえてるだろ」とぶっきらぼうに言って、一冊差し出した。「千二百円と、今日のぶん、運賃箱に入れて」

「あの……すみません、三冊……すみません……」

「三冊も？」

「はい……すみません……」

②大きくため息をついた河野さんは、「ちょっと、後ろのお客さん先にするから」と少年に脇にどくよう顎を振った。

少年は頬を赤くして、他の客が全員降りるのを待った。お父さん、お母さん、お父さん、お母さん、と心の中で両親を交互に呼んだ。助けて、助けて、助けて……と訴えた。

客が降りたあと、河野さんはまたカバンを探り、追加の二冊を少年に差し出した。

代金を運賃箱に入れると、「かよってるの？」と、さっきよりさらにぶっきらぼうに訊かれた。「病院、かようんだったら、定期のほうが安いぞ」

わかっている、そんなの、言われなくたって。

「……お見舞い、だから」

かぼそい声で応え、そのまま、□＊２ステップを下りて外に出た。全然とんちんかんな答え方をしていたことに気づいたのは、バスが走り去ってから、だった。

（重松清『バスに乗って』）

＊１すぼまった＝しぼんだ。

＊２ステップ＝バスや電車などの出入り口の階段。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問一　この文章を時間のうつり変わりによって二つに分けた場合、二つ目の場面はどこからですか。二つ目の場面の初めの三字を文中から書きぬきなさい。

問二　――線①「やっぱり三冊ぐらい買っとくか」とありますが、この発言は、どんなことを意味していますか。もっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　回数券を三冊使い終わるときに母は退院するということ

イ　母の退院とは関係なく回数券が必要だということ

ウ　母はしばらく退院できそうにないということ

エ　母はもうすぐ退院するということ

問三　――線②「大きくため息をついた」とありますが、このときの河野さんの気持ちとしてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　聞きたいことが全部わかって、ほっとする気持ち

イ　なぜ定期券を買わないのかと、不思議に思う気持ち

ウ　要りょうの悪い少年に対していらいらする気持ち

エ　何度もあやまる少年をかわいそうだと思う気持ち

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

問四　□にあてはまることばとしてもっともよいものを次のうちから選び、記号で答えなさい。

ア　はずむように　　**イ**　逃（に）げるように

ウ　のんびりと　　**エ**　力強く

□

問五　回数券の買い方について河野さんにいろいろと注意された少年が、バスの中で、つらい気持ちを一生けんめいにこらえていることがもっともよくわかる段落（だんらく）をさがし、その初めの三字を書きぬきなさい。

□□□

問六　この日までのやりとりを通して、少年は河野さんをどんな人だと思いましたか。次の□にあてはまることばを文中から六字で書きぬきなさい。

ムスッとしていて、□□□□□□な怖い人

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

解答編

小学4年　国語〔応用〕

第一講　文学的文章①

一題目

問一　十一月のすえ
　　三時ごろ　（順不同）
問二　花崎神社（のお祭り）
問三　(1)（例）落葉をかきよせたりするため。
　　(2)　幸せやお金・おまじない
問四　イ

二題目

問一　次の日
問二　ウ
問三　ウ
問四　イ
問五　少年は
問六　ぶっきらぼう

Ⓒ RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。